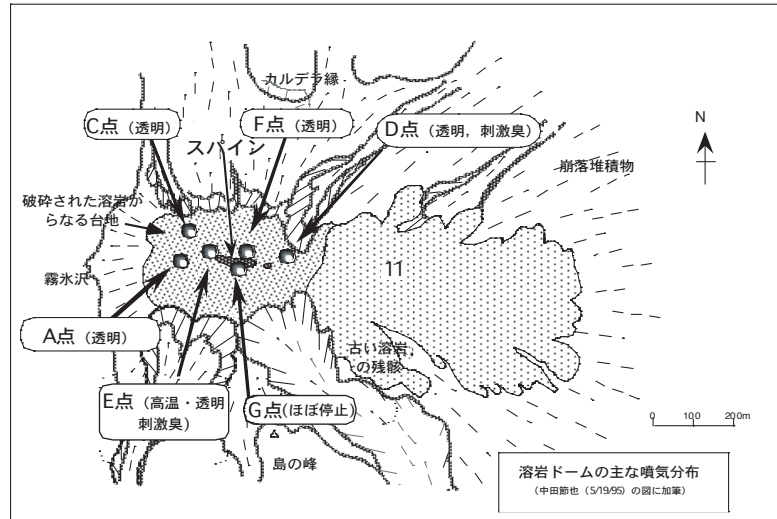
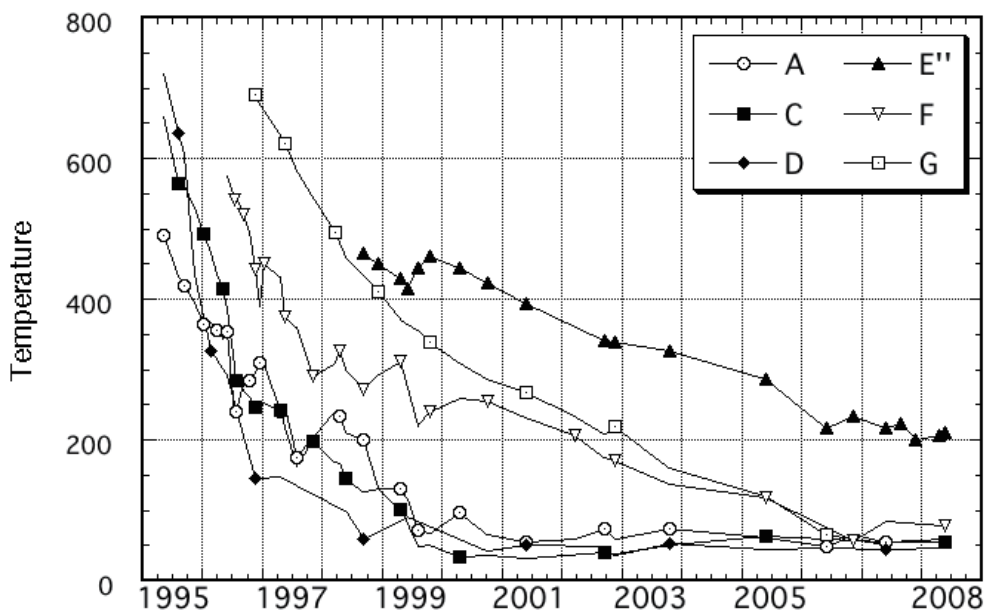


平成新山ドームの噴気ガスの温度変化



Temperature of Fumarolic Gas



- 噴気ガスの温度は順調に低下している。青白いガス（主に二酸化硫黄）や刺激臭のガスの量はしだいに減少している。
- 2008年5月20日測定での最高温度はE地点の摂氏210度であった。
- E点は東に傾きながら隆起した尖頂（Spine）の西側の根元にある。マグマの湧き出し口（旧地獄跡火口）の直上にあると推測される。
- 参考までにE点噴気口において北川式検知管を用いて噴気ガスを測定した結果、 SO_2 210ppm, $\text{CO}_2 > 5000\text{ppm}$, HCl 290ppm, H_2S 0ppmであった。前回（2007年11月26日）より $\text{SO}_2 \cdot \text{HCl}$ が増加しているが、測定位置の差異によるものと推定される。

*雑賀 敦・長井大輔・山下裕亮・松島 健・渡邊篤志・杉本 健・清水 洋・松尾紉道